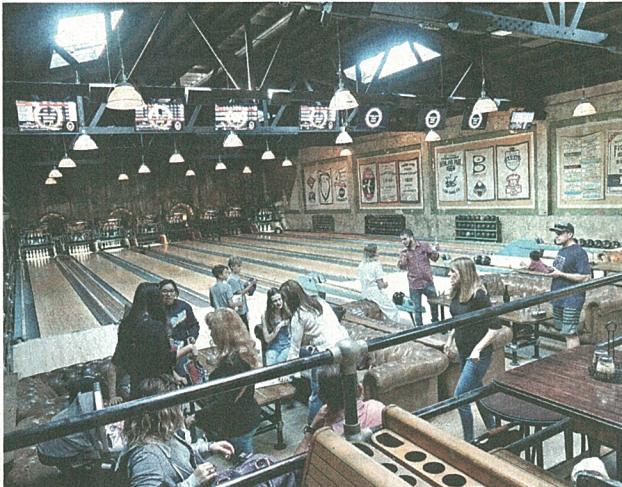


最近は、いろいろなモノやコトのデジタル化で便利になつたが、均一化して味わいや面白みがない無味乾燥な側面もある。作れば売れた時代、小売業にとって迅速な出店と効率的な店舗運営を可能にするチーンストアシステムの構築は必須条件だったが、売れ筋しかない店では発見やドキドキ、ワクワクというのは生まれてこない。行き過ぎたデジタルから、古くても味があるアナログが持つ温か

探訪 新 ライフ スタイル

車・ボウリング場、資產生かす米国



米口サンゼルスのボウリング場はレトロさと貸し切りもできる仕組みで人気だ

927年に建てられたロサンゼルス最古のボウリング場。2014年には歴史を感じる趣を残しながらレトロモダンに改装し、アートフルな空間になった。禁酒法時代にこつそりお洒落を飲んだ名残を再現したかのようない隠れ酒場もあり、朽ち果てそうな外観やレトロなサインとピンをモチーフにした照明など、アナログの豊かさが蔓延（まんえん）していた。ここでは1レンジ1時間40~50ドルでレーンを貸すシステムで、プライベートにMemory Laneにトにある「Matthew Motors」は、1978年に創業したクラシックカー専門店。30~60年代の名車がラインアップされ、まるでアメリカン・グラフィティの世界に迷い込んだようだ。客層は経済的に余裕のあるシニア年代が多く、彼らが10代に憧れた、または親から譲り受けた青春の思い出がある。店名の

こだわるシニアの欲求に対応

さとドラマ性を求めるアナタ。そこで目にしたのは、趣味やスタイル、雰囲気を楽しむ、モノに依存しない

リユースでゆとりや味わいを大切にするライフスタイルが広がっていた。

ペートでの貸し切りも可能だ。仲間で石釜ピザを食べてお酒を飲みながら過ごす

先月、米国のロサンゼルス、サンフランシスコ、ポートランドの3都市を訪れ、豊かさを求める生活者だった。新品や買い替え、使い捨てではなく、リサイクル、

ロスから車で30分ほどの
フィゲロアストリートにあ
る「Highland P」
大人の隠れ家は、行列の絶
えない名所になつていた。
ポートランドの中心部か

ている。古い部品はどう調達するかを聞くと「40年間のビジネスで他店と部品を融通し合った関係性がある。部品交換のオンライン市場もあり、製造販売中止や品切れだから購入できないと「ということはない」と自信ありげに語った。実はある期間乗ると他のクラシックカ

いつも実際にはモノに触れて感じるリアルな体験型の両方を求めていた。
(商)創造研究所代表 松本大地